

■主な事業内容

くらす	◇昨年の10月から「七ヶ宿白石線」の運行を開始し、町民の生活の足を確保するため町営バスを運行します。 ◇4年目となる元気な地域づくり交付金事業を継続します。 ◇広報しちかしゆく、議会だよりでさまざまな情報を発信します。 ◇災害発生に備え、消防施設の整備を行います。 ◇ほ場整備、老朽化した農業用水路施設の改修を行います。 ◇町の財産である森林を整備するため「みやぎの豊かな森林づくり支援事業」をはじめとする事業を展開し、森林整備事業を進めます。 ◇冬期間の町道の交通に支障を来さないよう舗装の補修や除排雪を行います。	3,330万円 509万円 263万円 1,144万円 556万円
	◇高齢者の方々が利用しやすい活動の場、新たな世代間の交流や地域コミュニティの拠点となるよう高齢者センターの改築を行います。 ◇疾病の早期発見・早期治療を目的とする検診事業、乳幼児や高齢者の予防接種事業を行います。今年度は新たに水ぼうそう、おたふく風邪の予防接種への助成を行います。 ◇子育て支援策として「出産記念品費」、「すこやか子育て支援金」、「子育て支援金」を継続します。また、子どもたちが楽しく豊かな集団生活を送れるよう保育所を運営します。	6,685万円 1,988万円 4,262万円
まもる	◇小中学校の児童生徒へ外国人による生きた英語指導のため、外国語指導助手（ALT）を継続して配置します。 ◇小学校における複式解消、学習や学校生活で児童生徒へのサポートを充実させるため補助教員を配置します。 ◇町の特性を活かした教育活動を行うことにより、児童生徒の生きる力と教育力を向上させ、自慢の学校づくりの推進を行います。 ◇町の豊かな自然を生かして、都市部の子供や家族を対象に、山村生活を体験させるとともに、地域の魅力を発信し山村留学の受入体制を行います。	438万円 272万円 180万円 276万円
	まなぶ	

特別会計予算額

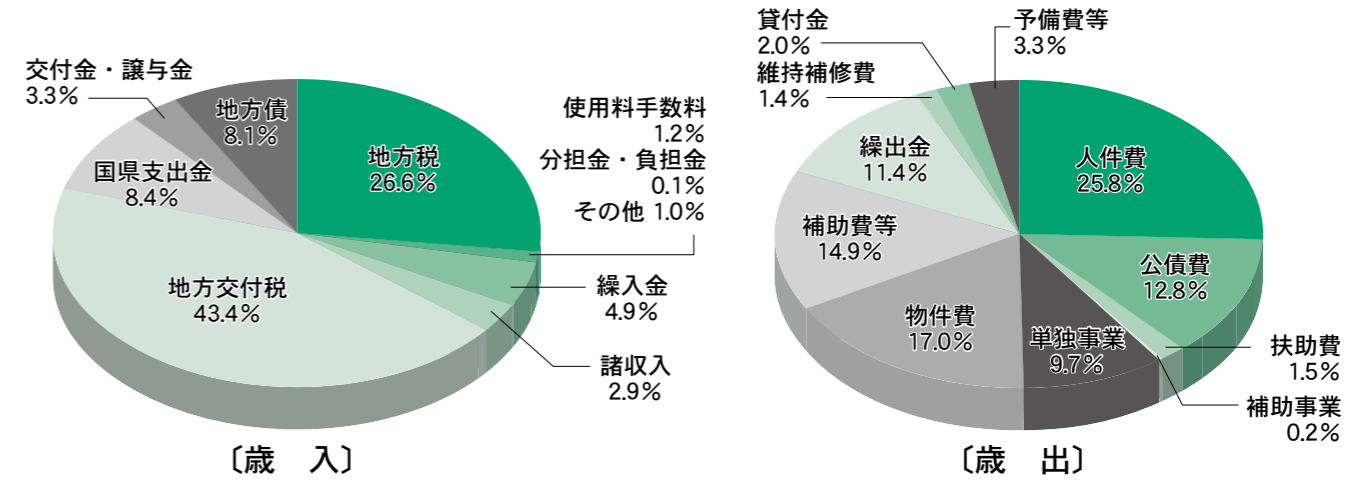
特別会計名	予算額	対前年比	
国民健康保険特別会計（事業勘定）	2億0,900万円	4.50%	保険給付費が増加しています
国民健康保険特別会計（直診勘定）	9,350万円	▲27.4%	医師住宅建設工事費が減少しました
簡易水道特別会計	4,260万円	▲2.7%	施設修繕料が減少しました
町営バス特別会計	3,330万円	35.90%	七ヶ宿白石線委託料、燃料費が増加しました
公共下水道特別会計	1億2,700万円	0.80%	不明水対策調査費が増加しました
介護保険特別会計	1億9,420万円	2.00%	各給付費が増加しました
介護サービス特別会計	1,500万円	▲8.5%	サービス収入が減少しました
後期高齢者医療特別会計	2,490万円	0.40%	療養給付費負担金が増加しました
特別会計合計	7億3,950万円	▲2.1%	

◆平成23年度の当初予算の概要を紹介しました。町のホームページや町の家計簿に詳しく掲載しています。
また、3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震により被害を受けた施設の復旧費用が発生する見込みとなっています。
詳しくは・・・七ヶ宿町役場 総務課財務係 ☎37-2111

平成23年度 当初予算のあらまし

平成23年度の七ヶ宿町の予算が3月定例議会で可決されました。一般会計は対前年比1億1,000万円（5.9%）増の19億8,000万円、国民健康保険特別会計ほか7特別会計は1,610万円（2.1%）減の7億3,950万円となりました。
七ヶ宿町の総予算額は、27億1,950万円、9,390万円（3.6%）増となりました。
昨年策定した七ヶ宿町総合計画「だれもがだいすきな水守の郷七ヶ宿」が2年目となり、「くらす」、「まもる」、「まなぶ」を着実に推進し将来にわたって住民がしあわせを実感してもらえるよう必要な施策を実施する予算編成となっています。

一般会計予算 19億8,000万円 歳入歳出構成費



(注) 歳入構成比中「その他」の欄には、使用料・分担金、財産収入、寄附金、諸収入等が含まれています。
歳出構成比中「建設事業費」欄には、補助事業・単独事業・災害復旧の事業費が含まれています。
「予備費等」とは、積立金、投資及び出資金、維持補修費、貸付金、予備費が含まれています。

■主な歳入と歳出予算

歳入	◇町税	5億2,748万円 (△1,103万円)・・・町民税、軽自動車税でわずかに増加しているものの、固定資産税や町たばこ税が減少しています。
	◇国庫支出金	6,649万円 (2,121万円)・・・関大橋耐震補強工事などの建設事業補助金が増加しています。
	◇地方交付税	8億6,000万円 (3,000万円)・・・普通地方交付税の算定方法が一部改正され増加しています。
歳出	◇物件費	3億3,622万円 (3,552万円)・・・住民基本台帳システム改修費、電子申告審査サービス導入委託など電算業務の使用料・委託料が増加しています。
	◇補助費	2億9,467万円 (653万円)・・・公立刈田総合病院、仙南広域事務組合など構成団体への負担金が増加しています。
	◇公債費	2億5,287万円 (△1,879万円)・・・町の借金の返済金が減少しています。
基金	◇財政調整基金	1,000万円 (900万円)・・・不足する財源を調整するために取崩します。
	◇振興基金	1,000万円 (900万円)・・・高齢者センター建設工事の不足する財源に取崩して充当します。
	◇減債基金	4,450万円 (2,450万円)・・・簡易水道・下水道特別会計の起債償還に充当します。